

ナシ「幸水」花芽接ぎ木法

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹部

研究のねらい

平成3年9月の台風17、19号によるナシの幸水、豊水においては、早期落葉による不時開花が甚だしかった。このため、平成4年産は花芽数が極端に不足し近年にない減収を被った。

そこで、「幸水」における不時開花による花芽不足を補うために花芽の着生している新梢を、接ぎ木して開花結実を図り、果実品質、果実肥大等について検討した。

研究の成果

1. 接木は秋季及び春季に行ったが、秋季は花芽の確認が難しく、花芽と思って接ぎ木しても葉芽になったものがかなりあったため活着した割には花芽数は少なかった。このことにより、花芽接の時期は春季の2月下旬～3月上旬が適当である。
2. 接木の方法としては、収量確保のためには接木数を多く確保することが必要なため、腹接ぎ、高接ぎを併用した方法がよい。
3. 接木に際して留意点は、穂木の乾燥防止のために被覆するのはパラフィンロウが適当である。
4. 花芽接木の果実は肥大及び糖度は通常の果実と差はみられないが、熟期がやや遅れると共に変形果が多い傾向にあった。
5. 以上のことから、不時開花の多い年にあっては、2月下旬～3月上旬に確実に花芽と判明する新梢を腹接ぎや切り接ぎ等により接ぎ木することにより、花芽不足を補い接木の本数次第では通常の50～70%の収量を確保することができる。

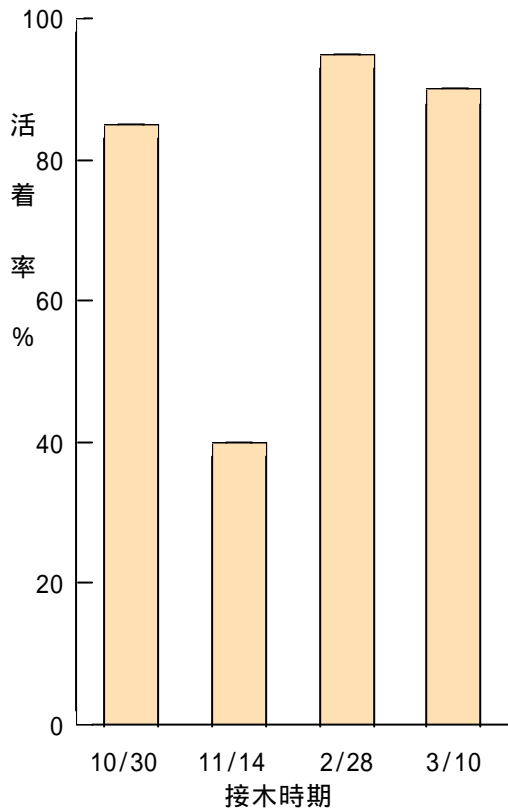


図1 花芽接木時期と活着率

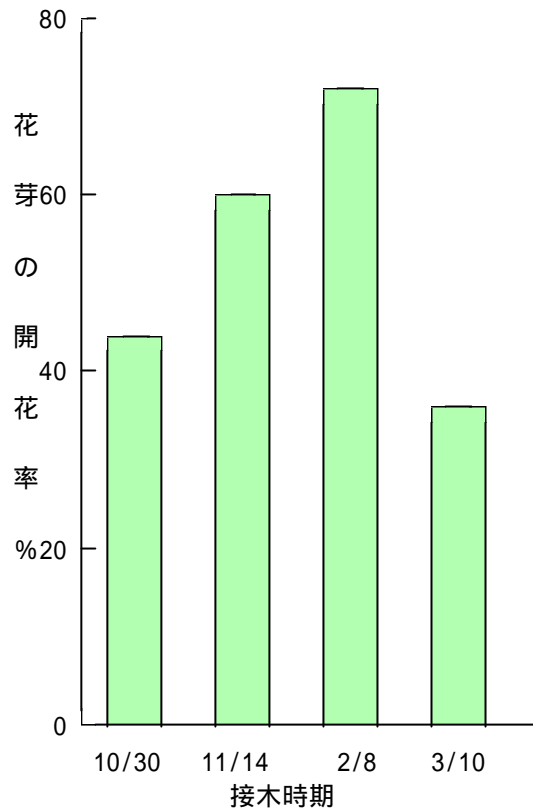


図2 花芽接木による開花率



写真 花芽接（切接）

表1 果実品種（幸水）

項目 区制	横径	縦径	果重	果色	果形	糖度	硬 度	P H	果 梗	
									長さ	径
]花芽接 ぎ対 照	mm	mm	g			Brix	ポント°		mm	mm
	8.44	6.88	291	3.84	3.24	13.7	4.8	5.5	2.87	3.88
	8.28	6.70	282	4.37	3.15	12.5	4.3	5.6	2.94	3.82